

平成24年 産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会 開催状況報告

開催年月日 平成24年3月22日

質問者 公明党 吉井 透 委員

質問要旨	答弁要旨
<p>一 環境産業振興と合わせた省エネの促進について 道の環境産業振興戦略、それから本日の省エネ・新エネ促進行動計画の中にも、LED照明についての記載がされておりまして、環境産業振興戦略の方では、道内企業5社が技術的に設計から組み立てまで行う動きが出ているというようなことが書かれております。 こういうものを推進することによって、省エネと併せた経済効果などが出てくるというふうを考えているわけですが、何点かお伺いをしていきます。</p> <p>(一) 新たな電灯料金区分の設定について (吉井委員) まず、このLED照明についてでありますけれども、2011年の売上高では前年比20%増ということで世界的にも2013年には2,270億個くらいの照明が広がるという予測も出ているわけですが、このようなことを受けてだと思いますが、経済産業省が昨年秋に、電力10社からの申請を受けて新たに20W以下の電気料金体系を新たに設定したと。 北電も12月から新たな料金体系を設定したということですが、これについての道の認識について、まず、お伺いしたいと思います。</p> <p>(二) LED照明機器の商品化の現状について (吉井委員) 今お話があったとおり、この料金体系は主に公衆街路灯への適用を目的にしたものというふう聞いております。 10Wまでの照明で照らせるということであれば、これまでの20Wの下限枠(91円36銭)の半分程度(52円92銭)という魅力的な料金体系になるということで、こういった開発も進んでいくものというふうに思っておりますけれども、まあ、既に開発も行われているというふうに私は承知をしていますが、このような照明機器の商品化の現状について、道の認識をお伺いします。</p> <p>(三) 道内企業の商品化の現状について (吉井委員) 大手メーカーでは既に実用化しているというところではありますが、先の道の環境産業振興戦略で述べられていた道内企業の商品化というのは実情はどうなっているのでしょうか、お伺いします。</p> <p>(四) LED街路灯の実証実験などについて (吉井委員) こうしたLEDの照明ですが、街路灯については、札幌市などが町内会等で実証実験を行っているということをお伺いしております。</p>	<p>(倉本参事) 新たな電灯料金区分の設定についてであります、北電では、街路灯などの電気料金メニューに關しまして、従来の区分では「20ワットまで」を一灯一月あたり91円36銭としておりましたけれども、昨年12月から、新たに「10ワットまで」の区分を設けまして、52円92銭と、より安価な料金設定を行ったものと承知をしております。 これによりまして、10ワット以下のLED照明など、省エネ型の街路灯を導入しました場合には、電気料金の節約が図られることとなりまして、高効率・小容量なLED照明の普及促進にもつながるものと期待をしております。</p> <p>(倉本参事) LED照明機器の商品化の現状などについてでございますが、LED照明は、従来品と比較しまして寿命が長く、低温でも発光効率が低下しないなどの特性を有しておりますことから、屋外での使用にも適した照明機器でありまして、この度の新たな料金体系の導入により、街路灯などでの利用拡大が見込まれるところであります。 こうした中、新たな料金区分に対応した10ワット以下の機種につきましては、社団法人日本照明器具工業会によりまして、現在国内では、10社を超えるメーカーが製造しているというふう聞いております。</p> <p>(倉本参事) 道内企業の商品化の現状についてであります、道内におきましては、精密部品加工企業が道内企業の協力を得まして、システム設計から部材製造、組み立てにわたるLED照明の製造・販売に取り組んでいるところでございます。 この会社の製品につきましては、奈井江町などで、防犯灯として導入されておりますほか、道内のJR駅ホームの足下注意灯や菓子販売店のショーケース、コンビニエンスストアの看板灯などの照明器具としても活用されているものと承知をいたしております。</p> <p>(倉本参事) LED街路灯の実証実験などについてであります、道内では、162の市町村におきまして、既にLED街路灯が設置されてきていると承知をしております。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>また、札幌市や釧路市、旭川市もそうではありますがLED街路灯の補助制度を既に設けていると聞いておりますが、このようなLED街路灯について実証実験の結果や道内市町村の取り組み状況について、道が持っている情報があれば教えていただきたい、また、どのように認識しているかも、お伺いしたいと思います。</p> <p>(五) LED化の効果について (吉井委員) こういう街路灯をLED化することの効果ということでありまして、町内会などが負担する電気料金は安くなり、全道では大幅な省エネとなると考えられるわけですが、道としては、こうした節電、省エネについて、どのように試算されているのでしょうか。</p> <p>(六) 今後の取組について (吉井委員) 札幌市の関係での試算を教えてくださいまして、全道的にはどのくらいになるか、ちょっと分からないということだったかと思いますが、まずは足下の節電や省エネなど、できるところから始めていくというのが現状、3.11以降のこういう需要の逼迫というところにも効果がある、大事なことであるというふうに考えています。 最後の質問でありますけれども、こうした街路灯のLED化推進を道の制度として支援をしていくというのは、大事ではないかと思っておりますけれども、道の認識をお伺いします。</p> <p>(吉井委員) 部長から御答弁をいただきました。 節電・省エネについては、効果があるということでありました。 経済効果、波及効果については今後の期待ということになりますけれども、街路灯のLED化というのは、環境産業の振興ということと、それから省エネを同時に進めるという、電力の需要の側から考えていく一つの対策になると考えております。 午前中、経済部長、私は経済委員会の所属ですが、</p>	<p>このうち、札幌市をはじめ15の市町村では、照度など、明るさなどの検証のため、LED街路灯の実証実験が実施されておりまして、照明範囲が狭いといった意見もあったようですが、歩行者の見え方、歩きやすさ、積雪の影響、防虫対策などに関して、概ね良好な結果を得ているとふうに聞いております。 また、旭川市をはじめ、23の市町村が、補助制度を設けて、町内会などによる設置への支援に取り組んでいるなど、道内におきましても街路灯などでのLED照明の導入に向けた取組が広がってきているものと認識をいたしております。</p> <p>(竹内室長) LED化の効果についてでありますけれども、実証実験を実施した札幌市の事例で大変恐縮でございます。 市や町内会等が管理している約15万灯の街路灯のうち、水銀灯約1万2千灯を順次LEDに交換していく計画であるというふうに承知をしております。 これを例にとりますと、年間で約226万キロワットアワー、標準家庭約720世帯の年間電力使用量に相当する電力の節約効果が得られるというふうに試算されております。 こうした取組がそれぞれの市町村で進められていくことによりまして、全道的に大きな省エネ・節電効果ももたらされるものと考えております。</p> <p>(坂口部長) LED照明に関する今後の取組についてでございますけれども、本道におきましては、厳しい電力需要の状況が見込まれる中、省エネ・節電効果の高いLED照明の導入促進を図っていくということは重要だというふうに、認識をしているところでございます。 道では、これまで、道路照明のLED化に向け、積雪寒冷地である本道の特性を考慮した実証実験に取り組んでいますほか、商店街が一体となった街路灯のLED化など、モデル的な取組への支援を行ってきたところでございます。 また、今年2月でございますけれども、本委員会に私ども照明をLED化した場合の試算というものを示させていただいたわけでございまして、道としては、自らの、率先とは申しませんが、そういう形での実証などを進めるほか、新たに電気料金の導入などを踏まえ、地域における取組を一層促進していくために、市町村の実証実験や補助制度などの情報を他の市町村に提供いたしますとともに、道の地域づくり総合交付金や、国の施策を効果的に活用するなどして、地域における街路灯のLED化を促進してまいりたいと考えております。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>部長からは細かい、うるさい、しつこい質問をお願いしたいというふうにあったところでありますけれども今後またこうした視点で取り上げさせていただきたいと思えます。</p> <p>まあ、私1年生で、この1年、3.11以降で大変忙しい委員会に部長にも、それから、管理監にもお付き合いをいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>お礼を申し上げて、質問を終わります。</p>	